



### 表彰の対象と種類

表彰の種類	対象	件数	副賞
<b>① 大賞</b>	子ども・子育て支援活動のモデルとなる実践的な活動で、地域の子どもや子育て家庭に対する貢献度が高いと認められるもの	1件	20万円/件
<b>② 奨励賞</b> 事業者部門 個人・団体部門		各部門 数件	10万円/件
<b>③ 草の根賞</b>	地域に密着した活動により特にその実績が著しいと認められるもの	数件	4万円/件
<b>④ 特別賞</b>	複数の団体の連携・協働により特にその効果・実績が著しいと認められる活動及びネットワーク	1件	15万円/件

※ 県内において、原則として令和4年4月1日現在で2年以上継続して表彰の対象となる活動に取り組んでいることが必要です。

※ ①～③は知事表彰、④は知事と神奈川県子ども・子育て支援推進協議会会長の連名表彰です。

### 応募方法

所定の応募(推薦)書に必要事項を記載のうえ、郵送してください。

▶ 郵送先

〒231-8588 横浜市中区日本大通1  
神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課

▶ 応募書やこれまでの受賞団体については、次のアドレスをご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/shientaisyou.html>

かながわ 子ども・子育て支援 検索



### 応募締切

令和4年7月29日(金)

※ 当日消印有効



神奈川県PRキャラクター  
かながわキンタロウ

問合せ先

神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課  
TEL 045-210-4666 FAX 045-210-8956



神奈川県

KANAGAWA

# かながわ 子ども・子育て支援大賞

## 第16回 表彰候補を募集します!

県では、事業者や個人・団体等が取り組む子ども・子育て支援活動のモデルとなる活動に対して、毎年、かながわ子ども・子育て支援大賞として表彰しています。皆様が現在取り組まれている活動、あるいは、ご存知の素晴らしい活動について是非ご応募ください。



神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課

## 第15回 かながわ子ども・子育て支援大賞等表彰受賞団体のご紹介

### 大賞 一般社団法人 びじっと・離婚と子ども問題支援センター



離別(離婚・別居)家庭の子どもと別居親の面会交流支援を通じて、子どもが双方の親と安定した親子・愛着関係を保ち、健全な自己肯定感を獲得して成長することを支援している。有志数人で始めた支援であったが、平成26年に一般社団法人化し、継続的支援を行う体制を整え、令和2年度には、法務省より、裁判外紛争解決手続(ADR)事業者の認証を受けた。

### 奨励賞 横浜幸銀信用組合



職員も参加するCSR活動として、「子どもたちの未来のためにできること」をテーマに「子どもの貧困解消」、「次世代の育成サポート」、「環境の改善とクリーンな社会の構築」の3つのアクションプランを掲げて、全国の乳児院施設へマスクや絵本の寄贈、こども病院への寄付など、多様な活動を展開している。

### 奨励賞 キッズカフェ杉田



「食品と絆を届ける」をモットーとした子ども食堂。コロナ禍でも毎月第4土曜日のカレーライス(弁当)と食品配布、月に1回、食品をひとり親家庭等に届けるデリバリー型のフードパントリー、不定期に行う生活用品の支援、イベント(コンサートやサンタ企画)等を開催するなど、地域の生活困窮家庭に寄り添う支援を行っている。

### 奨励賞 障がい者野球チーム「横浜メイキングス」



障がいの有無、性別、年齢などあらゆる壁を取り除いた多様性を受け入れた野球チームとして活動。原則週一回4時間の練習とメンバーの状況に合わせた野球大会の参加など、それぞれの個性・特性を理解しつつ、メンバーが互いを思い合いながら活動を行っている。活動も野球だけに限らず、他のスポーツや親睦活動も実施しており、チームはメンバーの憩いの場(居場所)となっている。

### 草の根賞 さくらホームレストラン



地域内にケアプラザ等がない横浜市中区関内地区において、有志が集まり、「地域の多世代寄り合い場」として、孤食や貧困に対して支援の手を伸ばすことを目的に活動を行っている。関内地区の民生委員が中心となり、町内会、まちづくり団体、個店と連携し、コロナ禍でも路上テラス事業やテイクアウト、パントリー事業などを継続。0歳からシニア、勤務者、通りすがりなど地域に行き来する方々を広く集め、気軽な食堂を展開し課題抽出を行っている。

### 草の根賞 おだわら児童館連合



多世代でどの年齢層でも集える居場所づくりのため、乳幼児、小学生を持つ保護者などが主力となり、市内の公民館を借りて子育て広場を実施している。学習支援や様々な体験活動を行っているほか、子ども食堂やフードパントリーも実施し、保護者の子育てへの負担感の緩和、貧困対策を取り入れて活動を行っている。

### 草の根賞 おしごとたいけん実行委員会



「まち」に住む小学生を対象に上星川近郊の店舗や企業の職業体験の場を提供している。普段利用する店舗での体験を通じ「まち」のことを知ってもらいながら、「働く」ことの難しさや楽しさを学ぶ機会を作り、子どもたちが地元への関心や愛着心を高め、将来の夢や目標を考える機会がもてる環境を作っている。

### 特別賞 鶴巻地区住んでよかったまちづくり協議会



鶴巻地区は南北に大きく分かれている中、自治会、地区社会福祉協議会、包括支援センターなど多機関を巻き込んだ拠点づくりを行っている。南側を地域拠点として、様々な会議及び教室の開催などを行う「ほっとワークつるまき」を設置。北側には常設の子育て支援の場として、様々な教室や児童・生徒向けの自習・相談室を展開する「つどいの場 嬉楽(きらく)」を開設したほか、「多世代交流ひろば(みんなのて)」等を展開している。